

玉名市まちなか未来プロジェクト活動報告（12月27日現在）

会議・WS名	細目	開催回数	開催日	参加延べ人数						備考	
				職員		市民		その他	合計		
				運営	チーム等	委員	一般				
まちなか未来 デザイン協議会	協議会	2回	① 8月22日	5名	10名	19名		5名	39名		
			② 1月10日					0名			
			計	5名	10名	19名	0名	5名	39名		
まちなか魅力 向上委員会	委員会	6回	① 8月6日	5名	3名	9名		2名	19名	2グループに分けて開催	
			② 9月3日	5名	9名	12名		2名	28名		
			③ 9月16日 9月24日	5名	7名	12名		2名	26名		
			④ 10月8日	4名	6名	12名		1名	23名		
			⑤ 10月22日	5名	8名	12名		2名	27名		
			⑥ 11月19日	5名	3名	9名		2名	19名		
			計	29名	36名	66名	0名	11名	142名		
	グランド デザイン班	5回	① 11月15日	4名	4名	5名		1名	14名		
			② 11月13日	5名	4名	5名		1名	15名		
			③ 11月8日	5名	4名	3名		1名	13名		
			④ 12月4日	4名	2名	5名		1名	12名		
			⑤ 12月9日	4名	2名	6名		1名	13名		
			計	22名	16名	24名	0名	5名	67名		
	社会実験班	3回	① 10月28日	3名	3名	5名		2名	13名		
			② 11月11日	3名	3名	6名		2名	14名		
			③ 12月6日	2名	1名	3名		1名	7名		
			計	8名	7名	14名	0名	5名	34名		
	社会実験（受験生応援メッセージ動画の収集 投稿：111件 275名										
	コアメンバー	5回	① 10月4日	3名		4名			7名		
			② 10月21日	3名		3名			6名		
			③ 10月31日	3名		3名			6名		
			④ 11月26日	3名		3名			6名		
			⑤ 12月24日	3名		4名			7名		
		計		15名	0名	17名	0名	0名	32名		
		合同会議	PTチーム	11月26日	5名	26名	9名		2名	42名	
			事務局	12月12日	12名	2名	4名		1名	19名	
	計		17名	28名	13名	0名	3名	61名			
	広報活動			note：vol.1～vol.4 newsletter：1号							
市民拡大ワークショップ	2回	① 9月28日	6名	25名	9名	8名	5名	53名			
		② 10月27日	5名	21名	8名	18名	5名	57名			
		計	11名	46名	17名	26名	10名	110名			
出前ワーク ショップ	肥後銀行	① 6月7日	3名	0名		10名		13名			
	玉名遺産を活かす会	② 6月13日	3名	2名	2名	10名	1名	18名			
	玉名町校区まちづくり委員会	③ 6月18日	1名	2名		6名		9名			
	九看大1年生	④ 7月4日	1名	3名	1名	43名		48名			
	九看大2年生	⑤ 7月8日	1名	4名	1名	38名		44名			
	妙法寺キッズサークル	⑥ 8月20日	5名	4名		21名	2名	32名			
	高瀬商店会	⑦ 9月4日	1名	6名	1名	11名		19名			
	地域コミュニティAru	⑧ 9月10日	1名	2名	1名	3名		7名			
	玉名市女性職員	⑨ 9月17日	1名	8名				9名			
	森のひろばログさんち	⑩ 9月30日	1名	4名		9名		14名			
	春出1区	⑪ 11月3日	1名	3名	1名	22名		27名			
	計 11団体		計	19名	38名	7名	173名	3名	240名		

会議・WS名	細目	開催回数	開催日	参加延べ人数						備考
				職員		市民		その他	合計	
				運営	チーム等	委員	一般			
まちなか未来プロジェクトチーム (市職員)	幹事会	1回	① 8月7日	5名	10名				15名	
									0名	
			計	5名	10名	0名	0名	0名	15名	
	プロジェクトチーム会議	2回	① 7月10日	5名	34名			0名	39名	
			② 11月26日	5名	21名	9名		2名	37名	魅力向上委員会合同
			計	10名	55名	9名	0名	2名	76名	
	跡地活用分科会	2回 (12日)	① 8月5日	7名	16名			2名	25名	
			②	令和6年11月13日～11月19日・令和6年12月9日～12月17日 11日間 19コマ 9課17名 企画経営課・管財課・都市整備課 秘書課・地域振興課・商工政策課・コミュニティ推進課・子育て支援課・保健予防課						
	事務局会議	10回	① 4月9日	13名	0名				13名	
			② 6月13日	13名	1名				14名	
			③ 7月30日	17名	1名				18名	
			④ 8月16日	13名	0名				13名	
			⑤ 9月25日	13名	0名				13名	
			⑥ 10月16日	13名	0名				13名	
			⑦ 11月12日	13名	0名				13名	
			⑧ 11月25日	13名	0名				13名	
			⑨ 12月12日	13名	0名				13名	
			⑩ 12月18日	13名	0名				13名	
			計	134名	2名	0名	0名	0名	136名	



玉名市まちなか未来プロジェクト

市民拡大ワークショップニュース vol.1



■第1回：みんなで考えよう！まちなかの「みらい」

日時：令和6年9月28日

場所：玉名市民会館会議棟

参加者数：48人

WS当日の様子は「玉名市まちなか未来プロジェクトの」noteでも配信しています。ぜひフォローしてください！



■当日のプログラムと概要

市民拡大ワークショップでは、市民の方々と一緒に、まちなかの6つのエリアの個性を活かしたまちの使い方や、実現したいことを語り合いました。

●開会

挨拶（玉名市長 ※代読）

●ミニ講演（ビデオメッセージ）

熊本県立大学環境共生学部 柴田 祐 教授

「市民と行政が共に創るまちなかの未来」



住民主体のまちづくりは本来、自分の家の前の道路を清掃する習わしのように江戸時代から息づいていましたが、戦後、公共のことは行政に任せるという文化が定着していったといいます。そのうえで、昨今の社会背景をふまえ「昔のあたりまえを取り戻す」必要がでてきている、と語る柴田教授

●話題提供

日本工営都市空間(株)

「データから読み解くまちなかの過去・現在・未来」



50年前と現在のまちなかの地図を比較や、人口推移、まちなかの来訪者数などのデータが「地域の現状や特徴を知る一つの切り口」として紹介されました。

●まちなかランドデザインたたき台のご説明

●グループワーク

「やりたいことが実現した理想の玉名のまちなかでの過ごし方」



まちなか未来デザイン協議会、まちなか魅力向上委員会、まちなか出前ワークショップ参加者、高校・大学、地域団体、市職員など多様な参加者がみな同じ目線で語り合いました。

グループ発表

開会

■各グループの発表内容「やりたいことが実現した理想の玉名のまちなかでの過ごし方」

理想のまちなかでの過ごし方について、市内の6エリア(7グループ)に分かれてワークショップを行いました。参加者が理想とするもうひとつの玉名市があったとして、このエリアでどんな風に過ごしたいか、イメージを膨らましながら個人の意見をグループで共有し、エリアの理想の過ごし方をプレゼンシートにまとめました。

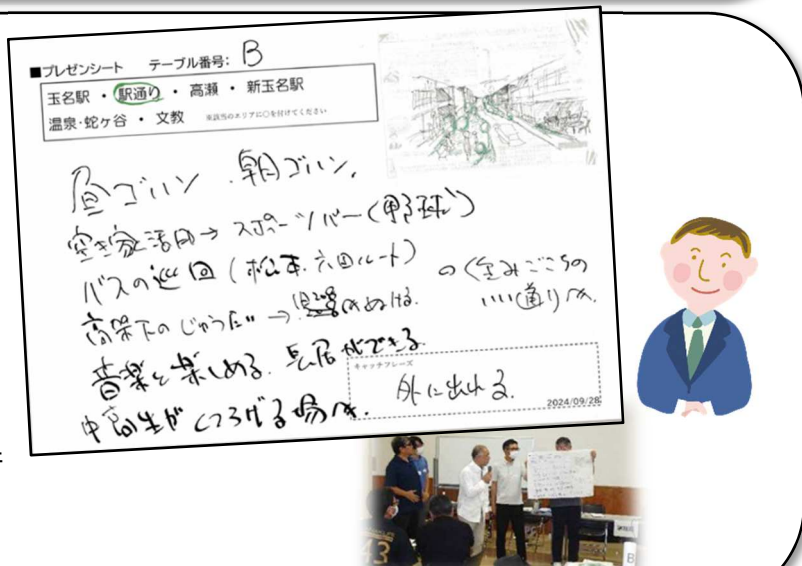
A table: 玉名駅エリア

「駅は人との交差点」をキャッチフレーズとして、駅を拠点としたまち歩きや、多世代が交流する学びのスペースなどがあると、いろいろな趣味を持った人が学びを広げていけるのではないかと提案がありました。また、駅南北のアンダーパスを地下街にして、学生エリアや社会人エリアをそれぞれ作ったり、駅の周辺にオープンカフェやミニ図書館、屋台村を設けることで、通勤通学の時間もより楽しめるような動きが生まれるのではないかと提案がありました。



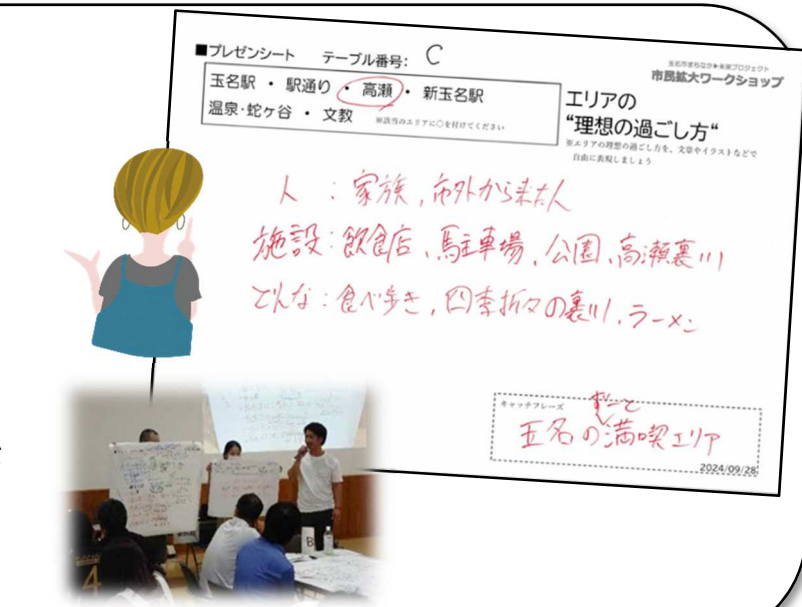
B table: 駅通りエリア

朝食や昼食を取れる場所が現状ないことからそういった場所の整備や、空き家を活用した居場所の整備(スポーツバーなど)が望まれています。交通の面では、松木地区には循環バスがなく、高齢者がタクシーを利用しているため、循環バスの導入があれば良いという提案がありました。また、高架下の渋滞も問題です。その他、音楽を楽しめる場所、中高生がくつろげる場所、祭りなどを通じてまちに人があふれるなど、商店街が商業の場としてだけでなくみんなが居心地の良い場所になることも望まれています。



C table: 高瀬エリア①

高瀬エリアには現在も素晴らしい商店が多く存在しているが、今後の発展に向けて、まず食べ歩きができる飲食店、カフェやキッズルームが併設されたカフェ、玉名市ならではの食材を使った飲食店などがあると良いという意見がありました。また、駐車場が少ないという問題もあり、災害時にも活用できる立体駐車場が必要という声もありました。その他、菊池川でのアクティビティ(SUP)や川の歴史が分かるような水族館、公園などゆっくり過ごせる場所など、子ども達でも楽しめる場所があると良いという提案がありました。

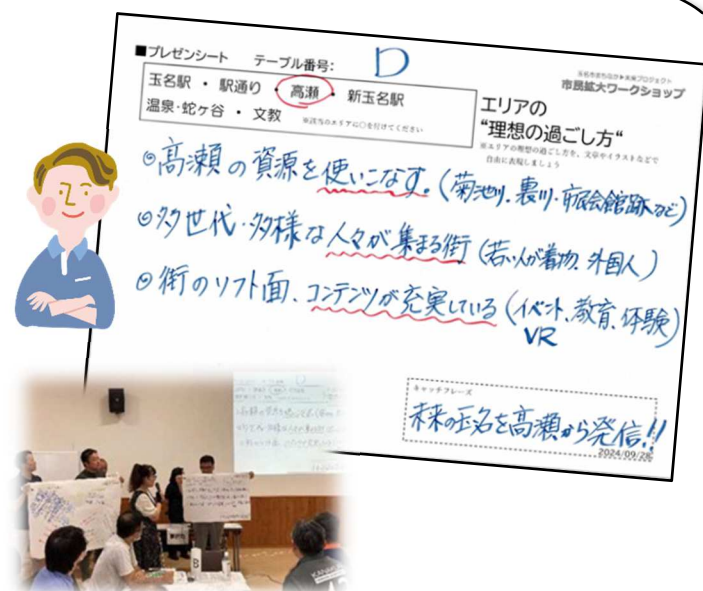


D table: 高瀬エリア②

高瀬の資源を活用するという点で、市民会館跡地の活用など多くの案がありました。一方で使いたい人と使える場所がマッチングされていない現状があるという意見もありました。

多世代・多様な人々が集まる街に向けて、例えば外国人が着物を着て歩ける場所などがあると良いという提案がありました。

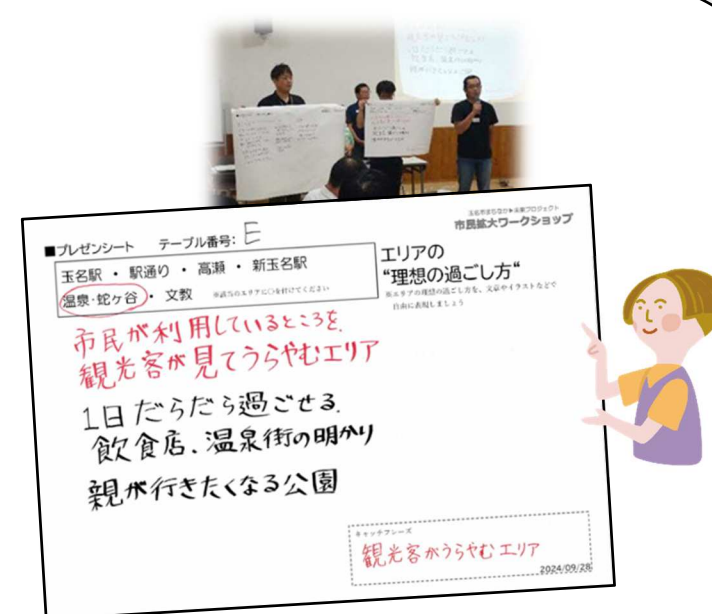
街のソフト面・コンテンツの充実については、多世代・多様な人々が集まる場所として、例えば仮想空間での交流もテーマとして「VR 玉名」などの提案がありました。



E table: 蛇ヶ谷・温泉エリア

蛇ヶ谷・温泉エリアを、市民が日常的に利用しつつ観光客にも魅力的な場所にするため、家族が温泉やスライダーを楽しんでいる合間に利用できる飲食店や空き家を活用したミニ図書館など休憩場所があるといいという提案がありました。

また、夜間の街灯や足元の灯りの整備や遊歩道・案内板など歩行環境の整備の提案もありました。そのほか大学生など若者向けに学生割引やPR などをするという提案がありました。

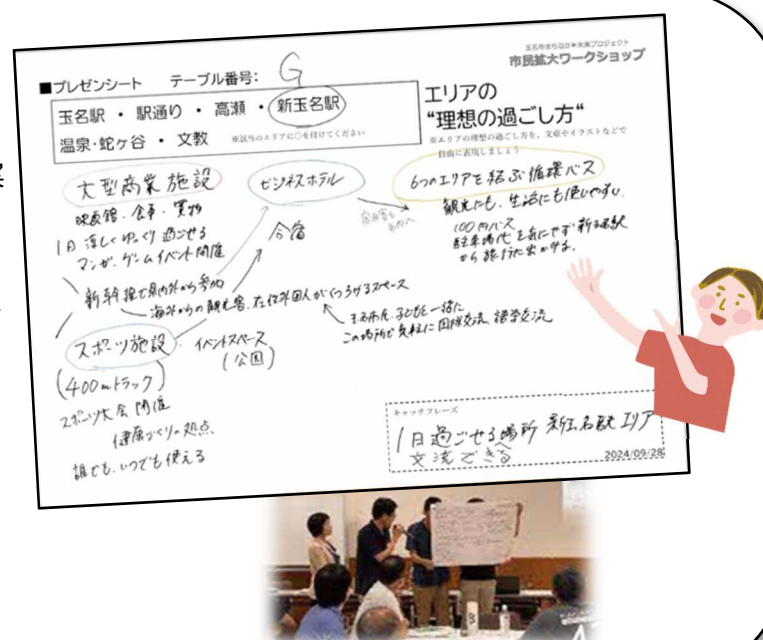


G table: 新玉名駅エリア

新玉名駅エリアに大型商業施設、スポーツ施設、ビジネスホテルが誘致できると良いという提案がありました。

大型商業施設は映画や食事・買い物が楽しめたり、海外からの観光客との語学交流ができる場所、スポーツ施設は大会を開催したり誰でも健康作りの拠点として活用できる場所、宿泊施設はそれらを利用する人々が泊まれる場所となるイメージです。

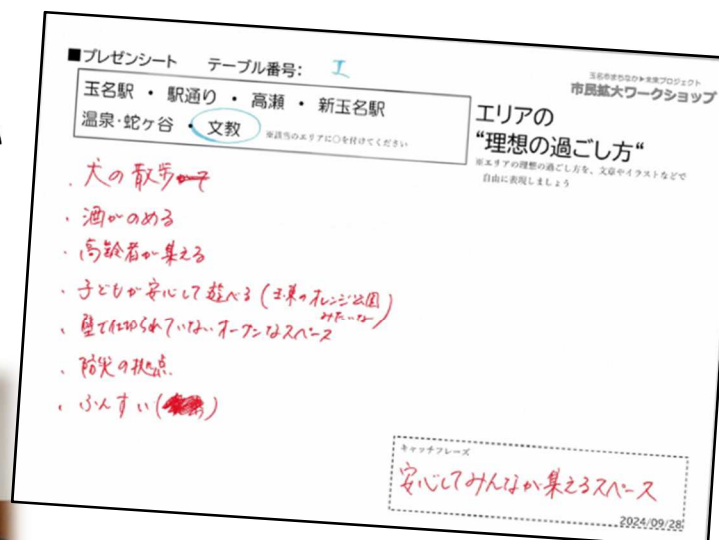
また、6つのエリアを結ぶ循環するバスを導入することで、観光客や住民が利用しやすくなるという提案もありました。



I table: 文教エリア

「安心してみんなが集えるスペース」として、商業施設のような建物ではなく、自分のやりたいことが安心して実現できる場所・スペースが必要であるという提案がありました。

病院についても、そのエリアにあれば良いという意見がありました。



■市長からのコメント

各グループの発表に対して、市長から次のようなコメントがありました。

ワークショップで出された案や意見は、丁寧に庁内で整理していきます。また、新玉名駅周辺はまっさらな状態であり、今回は具体的な提案も出されましたが、施設の誘致については庁内でも協議しています。追って、みなさんに共有していきます。

まちなか未来プロジェクトは、市役所の20の部署や課が集まり、検討を重ねてきました。一方、市民の方々の主体的な参加や協力も必要です。

今年度中に各エリアのワークショップも予定していますし、最終的にはまちなかのランドデザインを策定予定です。未来のこどもたちに素晴らしい玉名を残していけるよう、ぜひ今後の検討にも参加してほしいと思います。



■参加者の感想

ワークショップ後にご記入頂いたアンケートでは、様々な感想を頂きました。

- エリアごとで、一人一人の思いが良く解り参考になった。
- 言うこと（イメージ）するだけでなく、人の流れを作ることの大切さがわかった。
- 市役所職員・市民が市長の話と一緒に聞けるのは良い機会だった。
- 他の人と視点が違って楽しめた。
- 年代を問わず、集う場所を必要としている。
- 今回は大人だけで話したが、中高生などもまじえてまた話し合ってみたい。
- 説明時間を短くしてもっと話したかった。





玉名市まちなか未来プロジェクト

市民拡大ワークショップニュース vol. 2



■第2回：将来像実現のために「やってみたいこと」「できること」

日時：令和6年10月27日

場所：玉名市民会館会議棟

参加者数：52人

WS当日の様子は「玉名市まちなか未来プロジェクト」のnoteでも配信しています。ぜひフォローしてください！



■当日のプログラムと概要

官民連携まちづくりに取り組む先行事例や、玉名市のまちなかで行われている取組紹介のあと、将来像実現に向けた具体的な検討が行われました。第1回拡大ワークショップに参加した人や、今回はじめて参加した人も一緒になってテーブルワークを行いました。

●開会

挨拶（玉名市都市整備課長）

●前回ワークショップの振り返り

事務局

●話題提供

「官民連携まちづくりに取り組む先行事例」

・先行する他都市での活動事例紹介 日本工営都市空間(株)

・玉名市内での活動事例紹介

高瀬のお寺まるしえ(高瀬仏教会 濱崎安絵氏)

エキマチかたろうピクニック(福岡大学3年 中村絵美莉氏)



玉名市民・高瀬仏教会の濱崎さんは、熊本地震以降、7カ寺で実施されているお寺まるしえの活動について発表されました。



福岡大学の中村絵美莉さんは、玉名駅周辺を「エキマチ」と呼び、玉名駅のロータリーや駅周辺の路地などの魅力を発掘、発信しています。

●グループワーク

将来像実現のために「やってみたいこと」「できること」



まちなか未来デザイン協議会、まちなか魅力向上委員会、まちなか出前ワークショップ参加者、高校・大学、地域団体、市職員など多様な参加者がみな同じ目線で語り合いました。

●グループ発表

●閉会

閉会時には副市長より、「今回のワークショップで出た人口減少や空き家問題はまさに市としても検討しているところ。ご意見を今後のまちなか未来のプロジェクトに活用させて頂きたい」とコメントがありました。



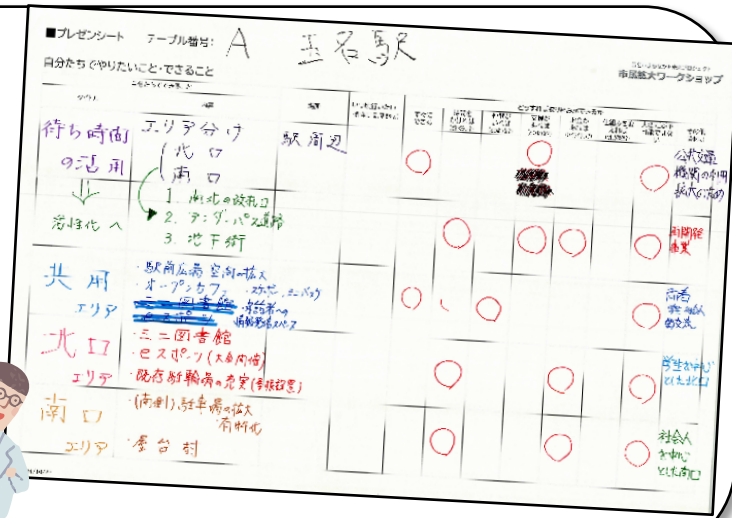
■各グループの発表内容：将来像実現のために「やってみたいこと」「できること」

前回のワークショップで意見交換をした市内の6エリア(8グループ)に分かれ、「自分たちでやりたいこと・できること」について、具体的にいつ、どこで、どのような課題をクリアしたら実現できるか？を考え、グループ発表が行われました。

A table: 玉名駅エリア①

玉名駅を「共用エリア」「北口エリア」「南口エリア」の3つにエリア分けし、それぞれのエリアでの取組アイデアが発表されました。

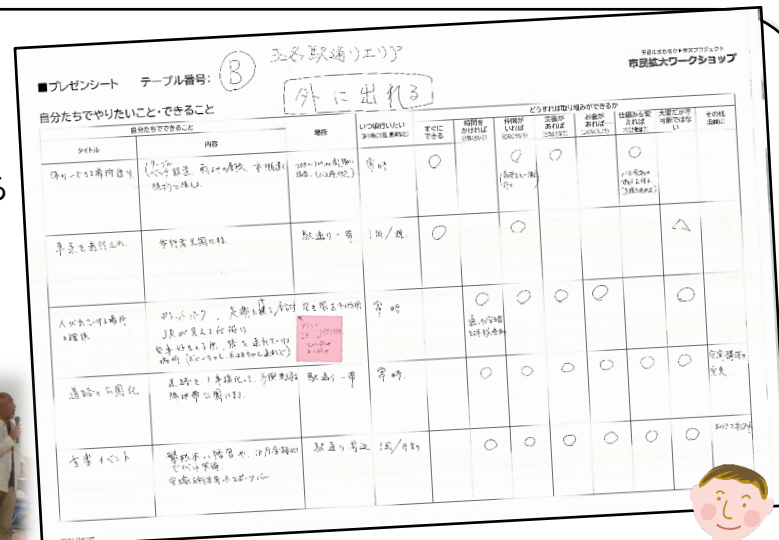
例えば、共用エリアではすぐにできることとして、オープンカフェや情報発信スペースを設ける、北口は学生をターゲットにミニ図書館や駐輪場の充実、南口は社会人をターゲットに屋台村の設置や駐車場の拡大などのアイデアが出されました。



B table: 駅通りエリア

まちの人たちが外に出て楽しく生活できるようにしたい、シャッターが閉まっている店舗も人が暮らしている気配が分かるようにしたいという思いから、既存の施設や空きスペースを活用して人が過ごせる場所をつくる提案がされました。

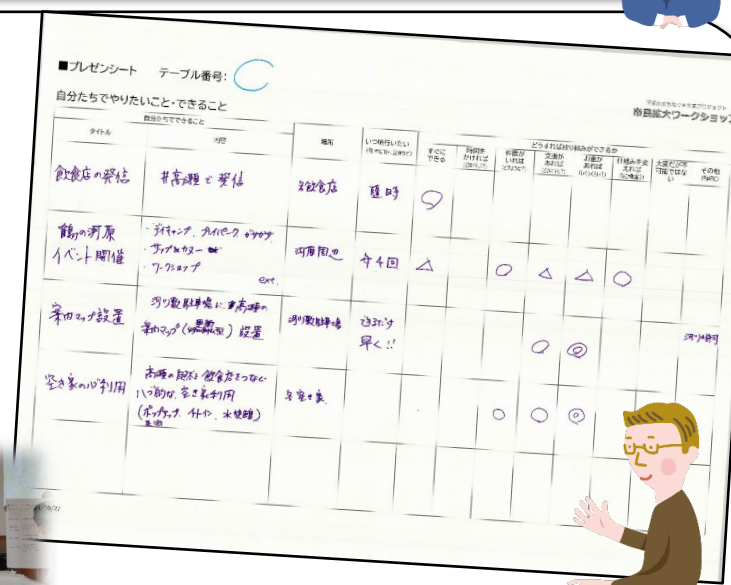
例えば、休憩場所、歩行者天国、人々が交流できる場所づくり、音楽イベントなど、エリアの居住者と来訪者が交流する仕掛けについて発表されました。



C table: 高瀬エリア

高瀬エリアには鶴の河原河川緑地(以降、鶴の河原)の遊べる場所、飲食店など魅力的な資源が豊富だが、地元の人にも十分に知られていないものも多いという背景から、エリア内の自然と飲食店をつなぎ、市民が集う場所をつくるというコンセプトで提案が行われました。

例えば、情報発信、鶴の河原でのイベント開催、案内マップの設置、空き家の利用などすぐにできることから、中長期的なことまで取り組みアイデアが出されました。



D table:文教エリア①

文教エリアでは、病院跡地を活用についてのアイデアを中心に発表がありました。

すぐにできることとして、駐車場を活用したマルシェなどの買い物スペースの提案があったほか、官民連携で図書館・防災拠点・高齢者のための住宅の整備などについて提案がありました。

また、将来的な学校の統合も見据えて、学校跡地の公園としての活用という提案もありました。

[illegible]

E table: 玉名駅エリア②

玉名駅エリアにおける、ライトアップやフリーボード、勉強スペースの設置のアイディアの提案がありました。

ライトアップは、イルミネーションやちょうちん、ダウンライト、竹とうろうなど様々なバリエーションがあるという内容のほか、勉強スペースもコンセントがあり充電ができる！など具体的な空間のイメージもあわせて考えられ、提案がありました。

[illegible]

F・G table: 蛇ヶ谷・温泉エリア

九看大フェスやマルシェなどすぐにできる取組としてイベントの提案が多くありました。そういったイベントの開催のためにも、公園の利用規制を撤廃してほしいという意見もありました。

また、空き家を活用して、コテージやシェアハウス、民泊など宿泊施設を整備するという提案もありました。

多摩市立多摩川中学校 多摩川中学校
市民協働ワークショップ

■プレゼンシート

テーブル番号:

F4 (姫ヶ谷・温泉)

自分たちでやりたいこと・できること

自分たちでやりたいこと	内容	場所	いつ行きたい (曜日・月・曜日)	すぐ できる	短期で 行きたい (2週間)	中期で 行きたい (1ヶ月)	長期で 行きたい (3ヶ月以上)	どのくらい 参加者が 必要か	どのくらい 費用がかかる か	その他 (備考)
自然体験 登山	赤城山 登山 4/27/28 7/26/27	赤城山	毎月	○		水曜日 1/14-15 お昼 お昼 お昼	利用開始 2/25	利用開始 2/25	とらば やる	
自然体験 登山	月曜 お昼 水曜 お昼	赤城山	毎月		水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	
自然体験 登山	月曜 お昼 水曜 お昼	赤城山	毎月		水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	
自然体験 登山	月曜 お昼 水曜 お昼	赤城山	毎月		水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	
自然体験 登山	月曜 お昼 水曜 お昼	赤城山	毎月		水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	
自然体験 登山	月曜 お昼 水曜 お昼	赤城山	毎月		水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	
自然体験 登山	月曜 お昼 水曜 お昼	赤城山	毎月		水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	
自然体験 登山	月曜 お昼 水曜 お昼	赤城山	毎月		水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	
自然体験 登山	月曜 お昼 水曜 お昼	赤城山	毎月		水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	
自然体験 登山	月曜 お昼 水曜 お昼	赤城山	毎月		水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	水曜日 2/14-15	

(特に整理の)
公園利用規則の即時生效
月間100円 整備(草刈り、トイレ等)に月1200円

H table: 新玉名駅エリア

新玉名駅エリアでは、「にぎわいづくり」「けんこうづくり」をテーマに様々なアイデアが提案されました。

例えば、にぎわいづくりは週末の楽しみとして、カフェや芝生広場の設置、大規模開発として大型商業施設やホテルの誘致の提案がありました。けんこうづくりでは、ランニングやサイクリングコース、スポーツ施設の整備などの意見がありました。

[illegible]

I table: 文教エリア②

文教エリアでは、病院跡地を活用についてのアイデアを中心に発表がありました。

現在、学生が学習スペースとして集っている場所について、将来的には学生だけでなく全ての人の学びの場として活用し、そういった場所を病院跡地でも整備するといったアイデアが提案されました。

また、病院跡地の活用方法として複合施設やサテライトキャンパス、小中学校の集約なども提案されました。

[illegible]

■参加者の感想

ワークショップ後にご記入頂いたアンケートでは、様々な感想を頂きました。

- 実現したらすごく楽しそうなアイデアばかり。
- 色々な意見が聞けて良かった。
- 様々なアイデアが出たが、実現に向けて誰がそれを進めて行くのかが今後大事。
- トライアンドエラーで実施していくべき。
- できることからしていきましょう！
- また様々な立場の方と平等に意見交換できる場が欲しい。
- これからも楽しみ！